

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻：始頁-終頁 ・邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名はIndex Medicus (Medline) の省略方法に準じて記載すること。 ・AMA style (JAMA の引用法) (JAMA1997:277:927—934) に準じて記載すること ・ 貴院所属の著者名に下線を引いて下さい。	雑誌名 (再掲)	貴院著者名 (漢字) ・英文の場合は、貴院著者名を漢字で記載してください。 ・和文の場合は記載不要です。 ・corresponding author の場合著者名の後に (corresponding autho) と記載すること	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
和文原著論文(筆頭筆者)	高橋千晶、奥寺敬、若杉雅浩、旭雄士. Emergency Coma Scaleは正確に意識レベルを評価できるか? -JCS、GCSの比較研究-第二報-. Neurosurgical Emergency 21(2):155-159, 2016	Neurosurgical Emergency	高橋 千晶	
和文原著論文(筆頭筆者)	高橋千晶、奥寺敬:新しいスケールEmergency Coma Scaleの開発の経緯と有用性の検討について. 日本交通科学学会誌 16(1): 3-8, 2017	日本交通科学学会誌	高橋 千晶	
和文原著論文(筆頭筆者)	高原 誠, 三吉 政道.: 日本呼吸器学会誌 (2186-5876)5巻増刊 Page226(2016.03).肺炎に伴う急性呼吸不全に対しAirway Pressure Release Ventilation(以下APRV)モードで呼吸管理した1例	日本呼吸器学会誌	高原 誠	
和文総説・著書(筆頭筆者)	今里 真, 難病と在宅ケア22巻8号 Page50-53(2016.11) 緩和ケア 世界の難病ケアに「こんにちば!」[後編]	難病と在宅ケア	今里 真	
和文総説・著書(筆頭筆者)	今里 真, 難病と在宅ケア22巻9号 Page51-54(2016.12) 緩和ケア 世界の難病ケアに「こんにちば!」[後編]	難病と在宅ケア	今里 真	
和文総説・著書(筆頭筆者)	遠藤寿子, 中島孝, パーキンソニズムのリハビリとロボティクス, Monthly Book Medical Rehabilitation 196,2016.5	Monthly Book Medical Rehabilitation	遠藤寿子	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, 難病治療に新たな時代の幕開け, 在宅人工呼吸器ケア実践ガイド-ALS生活支援のための技術・制度・倫理. 医歯薬出版株式会社, 川口有美子、小長谷百絵編著, 162-163, 2016.6.25	在宅人工呼吸器ケア実践ガイド-ALS生活支援のための技術・制度・倫理	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, 患者の主観評価に基づく難病ケア, 快をささえる難病ケアスターティングガイド, 医学書院, 編集: 河原仁志 / 中山優季, 222-223, 2016.7.15	快をささえる難病ケアスターティングガイド	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, 難病(HAMを含む)に対するHAL医療モデルを用いた多施設共同医師主導治験, 脊椎脊髓ジャーナル, 29巻7号, 707-713, 2016.7.25	脊椎脊髓ジャーナル	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, ニューロサイエンスの最新情報 ロボットスーツによる神経機能回復メカニズム, Clinical Neuroscience 月刊 臨床神経科学, Vol.34No.8, 936-937, 2016.8.1	Clinical Neuroscience 月刊 臨床神経科学	中島孝	
英文原著論文(筆頭筆者)	Yuji Suzuki, MD, PhD, Shinya Higuchi, MD, Izumi Aida, MD, Takashi Nakajima, MD, PhD, Tsutomu Nakada, MD, PhD, Abnormal Distribution of GABAA Receptors in Brain of Duchenne Muscular Dystrophy Patients, Muscle & Nerve accepted, 2016	Muscle & Nerve	Yuji Suzuki	

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻、始頁-終頁 ・邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名はIndex Medicus (Medline) の省略方法に準じて記載すること。 ・AMA style (JAMA の引用法) (JAMA1997:277:927—934) に準じて記載すること ・貴院所属の著者名に下線を引いて下さい。	雑誌名 (再掲)	貴院著者名 (漢字) ・英文の場合は、貴院著者名を漢字で記載してください。 ・和文の場合は記載不要です。 ・corresponding author の場合著者名の後に (corresponding autho) と記載すること	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, ALSを含む神経筋疾患におけるロボットスーツHALを用いた歩行運動プログラムによる歩行機能改善—Cybernetic Neurorehabilitationについて, 第7回ALSフォーラム記録集, 20-22, 2016.11	第7回ALSフォーラム記録集	中島孝	
和文原著論文(筆頭筆者以外)	岩田裕美子, 齊藤利雄, 永山ひろみ, 山本洋史, 西園博章, 四分一健介, 井上貴美子, 藤村晴俊, 中島孝, 脊髄性筋萎縮症II型に対する福祉用Hybrid Assistive Limbを利用した歩行練習が運動機能およびQuality of Lifeに及ぼす効果, 医療, Vol.70No.11, 457-461, 2016.11	医療	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, HAL医療用下肢タイプによる歩行運動療法, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, Vol.54No.1, 14-18, 2017.1.18	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, HAL医療用下肢タイプによるサイバニックニューロリハビリテーションとは何か, 臨床評価, 44巻4号740-746, 2017.2	臨床評価	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, パーキンソン病, 総合リハビリテーション, Vol.45 No.3, 201-207, 2017.3.10	総合リハビリテーション	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	中島孝, 飛永雅信, 認知症の医学, ケースで学ぶ認知症ケアの倫理と法, 南山堂 (松田純, 堂園俊彦, 青田安史, 天野ゆかり, 宮下修一編), 2-21, 2017.3.25	ケースで学ぶ認知症ケアの倫理と法	中島孝	
和文総説・著書(筆頭筆者)	遠藤寿子, 中島孝, ロボットスーツHALによる神経難病のリハビリテーション, 最新医学, Volume 72, Issue 3, 461 - 466 (2017.3)	最新医学	遠藤寿子	
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Utility of Cystatin C for Estimating Glomerular Filtration Rate in Patients With Muscular Dystrophy, Kimura, Koichi; Morita, Hiroyuki; Daimon, Masao; Horio, Masaru; Kawata, Takayuki; Takashi Nakajima 等等, International heart journal 57.3 (May 25, 2016): 386-388.	International heart journal	Takashi Nakajima	
和文総説・著書(筆頭筆者)	遠藤寿子, 中島孝, 歩行障害に対するロボットスーツHAL, カレントセラピー 2016;34(10):1009-1014	カレントセラピー	遠藤 寿子	
和文総説・著書(筆頭筆者)	遠藤寿子, 中島孝, パーキンソニズムのリハビリテーションとロボティクス, MEDICAL REHABILITATION 2016;196:45-50	MEDICAL REHABILITATION	遠藤 寿子	
和文総説・著書(筆頭筆者)	後藤清恵, 芳賀まゆき, 柴山直之, 中島孝, 入院・青年期筋ジストロフィー患者のサポートグループについての考察, 集団精神療法 Vol32, No2 2016:322-327	集団精神療法	後藤清恵	

項目 (英文原著論文、和文原著論文、 和文総説・著書)	論文全著者名、論題、雑誌名、発行年、巻：始頁-終頁 ・邦文雑誌名は医学中央雑誌、欧文雑誌名はIndex Medicus(Medline)の省略方法に準じて記載すること。 ・AMA style(JAMAの引用法)(JAMA1997;277:927—934)に準じて記載すること ・ 貴院所属の著者名に下線を引いて下さい。	雑誌名 (再掲)	貴院著者名 (漢字) ・英文の場合は、貴院著者名を漢字で記載してください。 ・和文の場合は記載不要です。 ・corresponding authorの場合著者名の後に(corresponding autho)と記載すること	所属 ・貴院の著者が臨床研究センター・臨床研究部に所属している場合には「臨床研究センター・部所属」を選択すること ・著者が複数名いる場合は、複数名のうち一名でも所属していれば「臨床研究センター・部所属」を選択すること
和文原著論文(筆頭筆者)	後藤清恵,人の意思決定に関わる文脈をどう考えるかー臨床遺伝.臨床心理学Vol17,No2 2017;176-179	臨床心理学	後藤清恵	
和文総説・著書(筆頭筆者)	後藤清恵, メディカル・ファミリーセラピー—Susan H.mcdniel著・監訳渡辺俊之 書評 臨床心理学 Vol17.No12017;139	臨床心理学	後藤清恵	
英文原著論文(筆頭筆者以外)	Microglia preconditioned by oxygen-glucose deprivation promote functional recovery in ischemic rats. Kanazawa, Masato ; Miura, Minami ; Toriyabe, Masafumi ; Koyama, Misaki ; Hatakeyama, Masahiro ; Ishikawa, Masanori ; Nakajima, Takashi ; Onodera, Osamu ; Takahashi, Tetsuya ; Nishizawa, Masatoyo ; Shimobata. Scientific reports7 (February 14, 2017): 42582	Scientific reports	Nakajima, Takashi	